

## 第 9 号様式

## 区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	令和 4 年度西区地域力向上事業（助成事業）の事後評価について				
事業の概要 （背景、経緯、 現状、課題等）	<p>令和 4 年度に実施された地域力向上事業の「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」について、行政推進会議での評価を報告し、西区協議会に意見を求めるもの</p>				
対象の区協議会	西区協議会				
内 容	<p>【地域力向上事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民提案による住みよい地域づくり助成事業</li> </ul>				
備 考 （答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など）					
担当課	西区区振興課	担当者	小泉 貴浩	電話	597-1112

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和4年度地域力向上事業評価シート

※実施事業が終了したときは、区行政推進会議及び区協議会で評価を行う（地域力向上事業実施要綱第10条）

区分	No.	事業名	提案者	事業内容及び成果	総事業費 (円)	助成額 (円)	西区行政推進会議事後評価				委員の意見
							西区らしさ	事業目的 の達成度	財政支援 の必要性	費用対効果	
							A (高い) B (普通) C (低い)	A (高い) B (普通) C (低い)	A (高い) B (普通) C (低い)	A (高い) B (普通) C (低い)	
市民提案による住みよい地域づくり助成事業	1	浜名湖 自然観察会	特定非営利活動法人 浜名湖フォーラム	<p>【日】 4月29日（金）、5月3日（火）、5月4日（水）、5月5日（木）、5月15日（日）</p> <p>【場所】 弁天島海浜公園、「いかり瀬」</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いかり瀬」での「水辺に住む生物」の観察</li> <li>「いかり瀬」への渡船</li> <li>浜名湖の自然についての座学による学習</li> <li>浜松市西区の未就学児・小学生及びその保護者が対象</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者218名。</li> <li>浜名湖に生息する動植物の観察、講義を通じて、浜名湖の生き物のみならず、浜名湖の環境保全、自然保護及び外来生物の規制についても学習することができた。</li> <li>「子供たちが楽しみながら学習できた」などと参加者からのアンケートでも好評であった。</li> </ul>	340,000	136,000	A	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜名湖の「いかり瀬」と弁天島海浜公園という西区の観光資源を活用した事業で、西区らしい、良い事業と言えます。</li> <li>浜名湖の愛護活動や環境保全につながっていくことを期待します。</li> <li>子供たちが遊びを通じて学ぶことができる事業として、今後も事業が継続されることを期待します。</li> <li>事業を継続していくためにも、今後実施する場合は、補助金の助成を受けることなく、参加者の負担により実施できないかを検討してもよいのではないのでしょうか。</li> </ul>
	2	第3回 うなぎ重高校創 作料理コンテ スト&フェア	「うなぎの街」プロ ジェクト実行委員会	<p>【時期】 10月1日（土）～3月21日（火）</p> <p>【場所】 コンテスト：WEB（オンライン） 審査員会議：ウオット研修室 フェア（商品化した作品の販売・提供）：県西部飲食店とスーパーマーケット</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生を対象に「頑張れ青春うなぎのぼり！大切な人に届けたい応援メッセージ料理」をお題に鰻の創作料理を募集し、コンテストを行い、優秀作品の表彰を行った。</li> <li>「鰻の創作料理部門」に加え、鰻に合うおかずを添える「応援うなぎ弁当部門」を創設。</li> <li>「浜名湖うなぎ」に加え、「うなぎいも」、「フチヴェール」、「エシャレット」などの地元特産品を1点以上「推奨食材」として創作料理や鰻弁当に使用するよう指定した。</li> <li>作品募集の段階で「推奨食材」の注文や相談に乗る「サポート団体」を紹介した。</li> <li>調理動画とレシピによる一次審査を実施し、選ばれた作品を審査員が試食を行い、優秀作品を決定した。併せて、ファン投票も実施した。</li> <li>最終審査は、大学講師、プロのアスリート、漫画家、調理学校の講師など異業種の審査員を迎えて、実施した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者100名（10校）。</li> <li>地元特産品を「推奨食材」としたことにより、参加者の地元特産品の認知度を高めることができた。</li> <li>地元特産品を調理する動画の配信は、地元特産品のPRにもつなげることができた。</li> <li>食材集めの段階で、各食材の生産者と生徒とコミュニケーションを図ることができた。</li> <li>優秀作品などを一次審査員を務めた調理人が営む飲食店にて販売提供した。</li> <li>「応援うなぎ弁当部門」の優秀作品を地元スーパーマーケットにて鰻弁当として販売した。</li> <li>最終審査は審査員となった人たちが異業種交流の場となり、新たなビジネスパートナーが生まれるなどの相乗効果が生まれた。</li> </ul>	1,167,800	464,000	A	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「うなぎ」は「ズバリ！」西区らしさの象徴と言えます。</li> <li>コロナ禍で活動が制限されてきた高校生に良い社会経験の場を提供できた点が評価できます。</li> <li>回を重ねるごとに事業規模が拡大している点が好印象で、事業が継続され、事業規模が更に拡大されることを期待します。</li> <li>浜松市を「うなぎの街」として全国にPRできる企画で、事業が継続されることを希望します。</li> <li>優秀作品の商品化は地域の活性化に貢献していると言えます。</li> </ul>
	3	空からわが町の 防災について 考えよう	舞阪新町子ども育成 会	<p>【日】 (1) 2月25日（土） (2) 3月4日（土）</p> <p>【場所】 (1) 舞阪小学校 (2) 舞阪協働センター</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 「熱気球教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「熱気球の仕組み」や「気球の種類と役割」などをクイズ形式で学ぶ学習会を実施した。</li> <li>実物のバルーンとゴンドラに触れ、気球を膨らませるガスバーナーの点火と噴射を体験した。</li> </ul> <p>当初は、気球から自分たちの住む街を眺めることで、津波発生時の危険性を知るための「熱気球搭乗体験」を予定していた。しかし、この「熱気球搭乗体験」は強風のため実施できなかったことから、代わりに「熱気球教室」を実施した。</p> <p>(2) 「防災謎解きゲーム&amp;防災マップ作り」</p> <p>(あ) 「防災謎解きゲーム」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>謎解きシートやカルタなど防災に関するクイズを解いてゴールを目指す体験型の防災ゲームを実施した。最後には子どもたちが景品をゲット。</li> </ul> <p>(い) 防災マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舞阪町を中心とした防災マップの作成に親子で取り組んだ。</li> <li>作成した防災マップは舞阪協働センターに展示した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者：(1) 52名、(2) 32名</li> <li>「防災謎解きゲーム」を通じて、普段から防災訓練をするなど災害に備えておくことの大切さを楽しく学ぶことができた。</li> <li>防災マップの作成を通じて、自分たちの住む街を知り、避難所の場所を再確認することもでき、防災に役立つ知識を習得することができた。</li> </ul>	224,537	112,000	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱気球を実際に飛ばすことができなかったことは残念ですが、良い試みです。</li> <li>「防災謎解きゲーム&amp;防災マップ作り」を実施したことにより、地域の子供たちの防災に対する意識を高められたことは大変評価できます。</li> <li>防災マップが町内の皆さんの意識に織り込まれるような何らかの対応を期待します。</li> <li>「熱気球教室」と防災との関連付けができれば、より良い事業になったのではないのでしょうか。</li> <li>事業の継続性が感じられない点は残念です。</li> <li>「熱気球搭乗体験」の実施時期など熟考する必要があったかもしれません。</li> </ul>

## 第9号様式

## 区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	令和5年度西区地域力向上事業（助成事業）の提案について				
事業の概要 （背景、経緯、 現状、課題等）	<p>令和5年度の西区地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」（第2次募集）に提案のあった事業について意見を求めるもの。</p> <p>◎採択までの流れ</p> <p>① 西区行政推進会議にて審議（R5.5.10開催）</p> <p>② 西区協議会にて協議、意見聴取（R5.5.24開催）</p> <p>③ 採択の可否決定（R5.5月末予定）</p> <p>※地域力向上事業 市民協働の手法により住みよい地域社会を実現するため、区の特性を活かした事業や課題を解決する事業</p>				
対象の区協議会	西区協議会				
内 容	<p>《令和5年度提案 1件》</p> <p><b>【提案団体】</b> テントテントテン運営事務局</p> <p><b>【事業名】</b> 佐鳴湖を拠点とした地域コミュニティの土台作り *1回目（50%以内）</p>				
備 考 （答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など）					
担当課	西区区振興課	担当者	袴田 隼希	電話	597-1112

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和5年度 地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」提案事業

番号	1	新規・継続	新規	採択回数	1回目(補助率50%以内)
事業名	佐鳴湖を拠点とした地域コミュニティの土台作り				
提案団体	テントテントテン運営事務局				
実施時期	令和5年6月1日(木)～令和6年3月31日(日)				
実施場所	佐鳴湖公園(西区)				
参加予定人数	団体スタッフ 3名 参加者 約100名 来場見込 約700名				
総事業費	382,600円 報償費:30,000円 需用費:240,600円 役務費:88,000円 使用料・賃借料:24,000円				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの形成を促進すること</li> <li>・佐鳴湖の自然を次世代に継承すること</li> <li>・体験を通じた「学びの場」を子供たちに提供すること</li> </ul>				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐鳴湖公園(西区)における定期的なマルシェの開催</li> <li>・佐鳴湖の自然を体感できるアクティビティ(※)の企画・実施</li> <li>・佐鳴湖の清掃・整備活動</li> <li>・公式ホームページの開設</li> </ul> <p>※公園内に落ちている枝や葉などを使った「クラフト教室」や公園内での「アウトドア・ヨガ」など</p>				
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民同士の交流の機会を提供することで、孤独感を抱く人や一人で悩みを抱える人を減らすことができる。</li> <li>・区民が「良いことをしたい」、「チャレンジしたい」と発起したときに、活動の場を用意ことができ、区民同士が協働して地域を盛り上げる土台とすることができる。</li> <li>・区民が、佐鳴湖の自然に触れ、佐鳴湖の自然を大切にしたいという思いを育むきっかけとすることができる。</li> <li>・親子や友達と一緒に楽しい時間を過ごせる場所を近所に創出することができる。</li> <li>・子供たちが、経験を通じて楽しみながら、学びを得ることができる。</li> </ul>				

行政推進会議における審査結果	市執行上限額	191,000円
<p><b>【審議・採点】</b> 25点満点中19.8点</p> <p><b>【審査結果】</b> 採択の対象と考える。</p> <p><b>【委員から出た意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの手で地域の新たな姿を作り出そうとする取り組みを高く評価したい。</li> <li>・参加者の年齢層が幅広く、佐鳴湖という自然を利用した取り組みで、期待が持てる。</li> <li>・スタッフ自身が楽しく活動できていることが(プレゼンテーションを通して)よく分かった。今後も楽しく活動を続けてほしい。</li> <li>・地域の様々な団体と連携・協働する考え方に好感が持てる。</li> <li>・佐鳴湖に地域住民のコミュニケーションの場が設けられ、佐鳴湖の自然環境を知る機会も提供されることは、地域の活性化につながると思われる。</li> <li>・イベントが軒並み中止になっていた中で、当団体は各世代が参加できるイベントを定期的で開催し、地域の交流を深めようとしてきた。大変良い取り組みである。</li> <li>・今後、より西区らしさを発揮できる事業となるよう期待したい。</li> </ul>		